CHUBU

取扱説明書（保証書付）

型式　ＤＣ１７ＨＡ

ＩＨ中華レンジ

●安全に正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

●十分に理解されるまでお使いにならないでください。

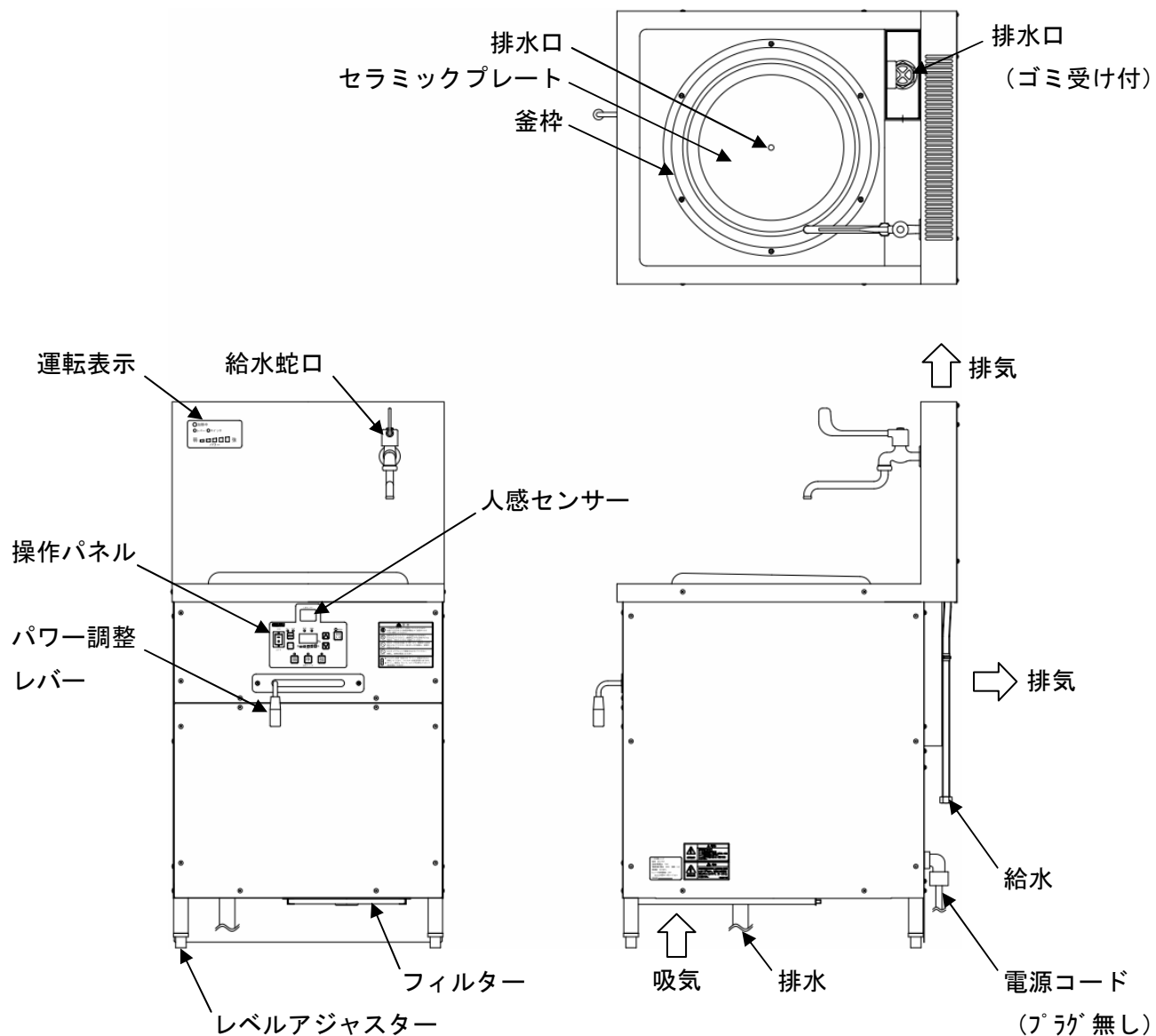
●この取扱説明書はすぐに取り出せるように大切に保管してください。

●この取扱説明書で「警告」は守らないと重大な人身事故の可能性があることを示し「注意」は守らないと中程度、または軽傷の人身事故の可能性があることを示します。

●仕様および外観は性能向上のため予告なく変更する場合があります。

目次

株式会社 中部コーポレーション

1　各部の名称

付属品

- **取扱説明書（保証書付き）**
- **高周波利用設備許可申請書類**

2　安全のため必ず守って下さい

●ご使用になる前に、この「安全のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。
●表示と意味は次のとおりです。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。　＊

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

注 意	△は注意(危険・警告を含む)を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。
 分解禁止	⃠ は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、⃠ の中や近くに絵や文章で示します。
 アース工事	● は、強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、● の中や近くに絵や文章で示します。

警　告

●お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること
もし、損傷があれば運送会社へ損傷の状況を（梱包の箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガ等の原因となります。

損傷確認

●アース工事を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
（電気工事業者によるＤ種設置工事が必要です。）

アース工事

●絶縁試験（メガーテスト）をしないこと

メガーテストを行うと、故障の原因となります。

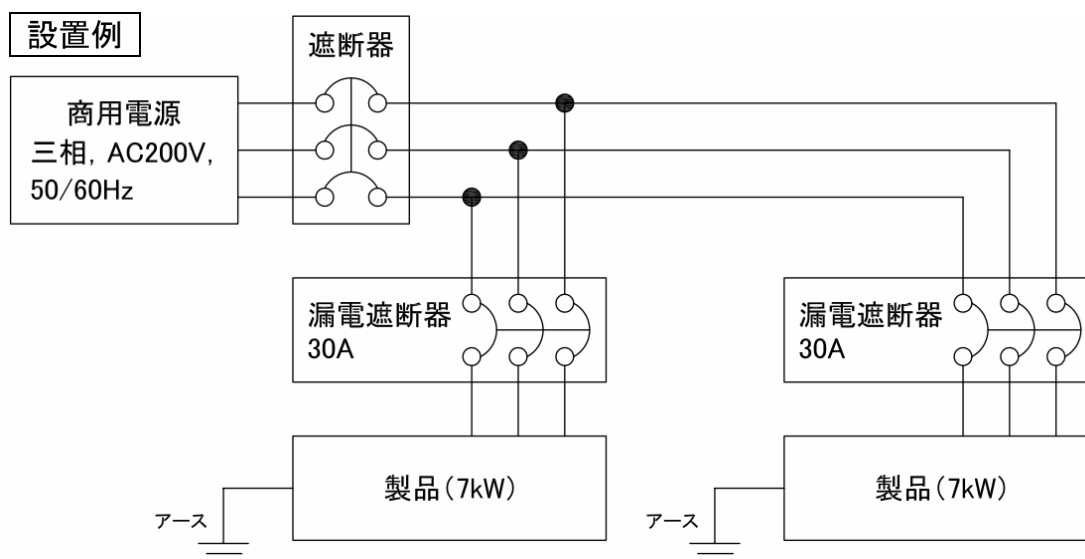
禁　止

●本製品１台につき１個の高周波対応漏電遮断器（地絡過負荷・短絡保護兼用形）感度電流 30mA を以下のように設置すること

本製品（７ｋＷ）については、定格３０Ａ以上の漏電遮断器を以下の設置例のように設置してください。

遮断器，漏電遮断器は、配電盤内に設置し配線してください。

アースはＤ種接地工事を施工してください。

漏電遮断器設置

●電源は専用電源を使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因となります。（電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認して下さい。）

専用電源

●屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因となります。

屋外禁止

●本製品は子供だけで使わせないでください

感電、ケガの原因となります。

禁　止

●電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると電源コードが破損し、感電、火災の原因となります。

禁　止

●電源コード接続部にほこりなど汚れが付着していないか、また、
しっかりと接続されているか定期的に確認すること
汚れが付着したり接続が不完全な場合は、感電、火災の原因となります。

点検掃除

●濡れた手で電気部品に触れたり、元電源を操作をしないこと
感電、ケガの原因となります。

濡手禁止

●元電源（漏電遮断器）がＯＦＦに作動した場合や異常時は、運転を
停止し、元電源を切って、すぐに販売店へ連絡すること
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因となります。

連絡

●作業専門者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
異常動作してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの
原因となります。

分解禁止

●釜枠やセラミックプレートは高温になりますので触れないこと
使用後しばらくは、鍋の熱で釜枠やセラミックプレートが高温になって
いますので、触れないでください。

接触禁止

●セラミックプレートに衝撃を加えないこと
セラミックプレートにひびが入ったり、割れた場合は販売店に連絡して下さい。
有償にて修理を致します。そのままでの使用は絶対にしないでください。
異常動作や感電の原因となります。

禁　止

●運転中は製品の使用場所から離れないこと
発火する恐れがあり、火傷、火災の原因となります。
運転中に製品正面から離れると、人感センサー保護装置が作動（CF 表示）して
運転が停止します。ただし、20 秒以内に戻れば作動しません。

禁　止

●油使用時は、発火しないよう注意すること
火災の原因となります。

禁　止

●鍋の空焚きをしないこと
空焚きをすると鍋が急激に温度上昇するため、火傷、火災の原因となります。
やむを得ず行う場合は、出力を低めに設定し十分注意して行うこと。

禁　止

●水、油等の液体につけたり、かけないこと
火災、漏電、感電の原因となります。
また、ふきこぼれ等の場合は元電源を切り、拭き取って下さい。

禁　止

●心臓用のペースメーカーをご使用の方は、使用に注意してください

心臓用のペースメーカーをご使用の方は、専門医師とよく相談の上、影響のないことを確かめてからご使用ください。

注 意

注　意

●丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因となります。

水平設置

●製品の対面 70cm 以内に物を置かないこと

人感センサー保護装置が正常に作動せず、火傷、火災の原因となります。

禁 止

●１週間以上使用しない場合は、元電源を切ること

ほこりが溜まって発熱、発火の原因となります。

元電源切り

●移設または廃棄は専門の業者か、販売店に依頼すること

据付不備や勝手に放置しますと、違法になったり、事故の原因となります。

専門業者

●吸気口、排気口をふさがないこと

吸気口、排気口をふさいだり、すぐ側にものを置くと、製品内部の温度が高くなり、故障の原因となります。

禁 止

●鍋は釜枠の中央に置くこと

鍋を釜枠の中央からずらしたり、置かずに運転しますと、出力が下がったり、保護装置が作動（nP 表示）して運転が停止します。

ただし、20 秒間は保護装置は作動しません。

注 意

●キャッシュカード・テレホンカード・自動改札用定期券などの磁気製品を近づけないこと

内容破損の原因となります。

注 意

●鍋以外は使用しないこと

鍋以外の磁石に吸い付くもの（缶類、ナイフ、スプーン等）を置くと、破裂したり、赤熱し、火傷の原因となります。Ｐ７に示す使用できる鍋を使用してください。

●排水口より熱湯または油を排水しないこと

排水ホースがつまりまたは破損し、水漏れ、感電、故障の原因となります。

3　設置および使用前の準備

●据付工事は専門業者に依頼すること

お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、火災、感電、故障の原因となります。

●使用周囲温度範囲は 5～25℃とすること

この温度範囲以外では、正常に動作しないことがあります。

●元電源（漏電遮断器）が正しく接続されていることを確認すること

Ｐ３に示す内容で正しく接続されていることを確認してください。

●湿気の多いところや、水がかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因となります。

●製品の対面 70cm 以内に物を置かないこと

人感センサー誤作動の原因となります。

使用前に、製品の前に人が立っていない間は人感センサー検知ランプが消灯していること、また、人が立っている間は人感センサー検知ランプが点灯していることを確認してください。

●電源はＰ１４「8 仕様」に示す規格に合うものを使用してください

使用前に供給される電圧が製品の定格と合っているかを確認してください。

●給排水の接続はＰ１４「8 仕様」に示す規格に合うものを使用してください

使用前にゆるみなく確実に接続されていることを確認してください。

●使用可能鍋を使用してください

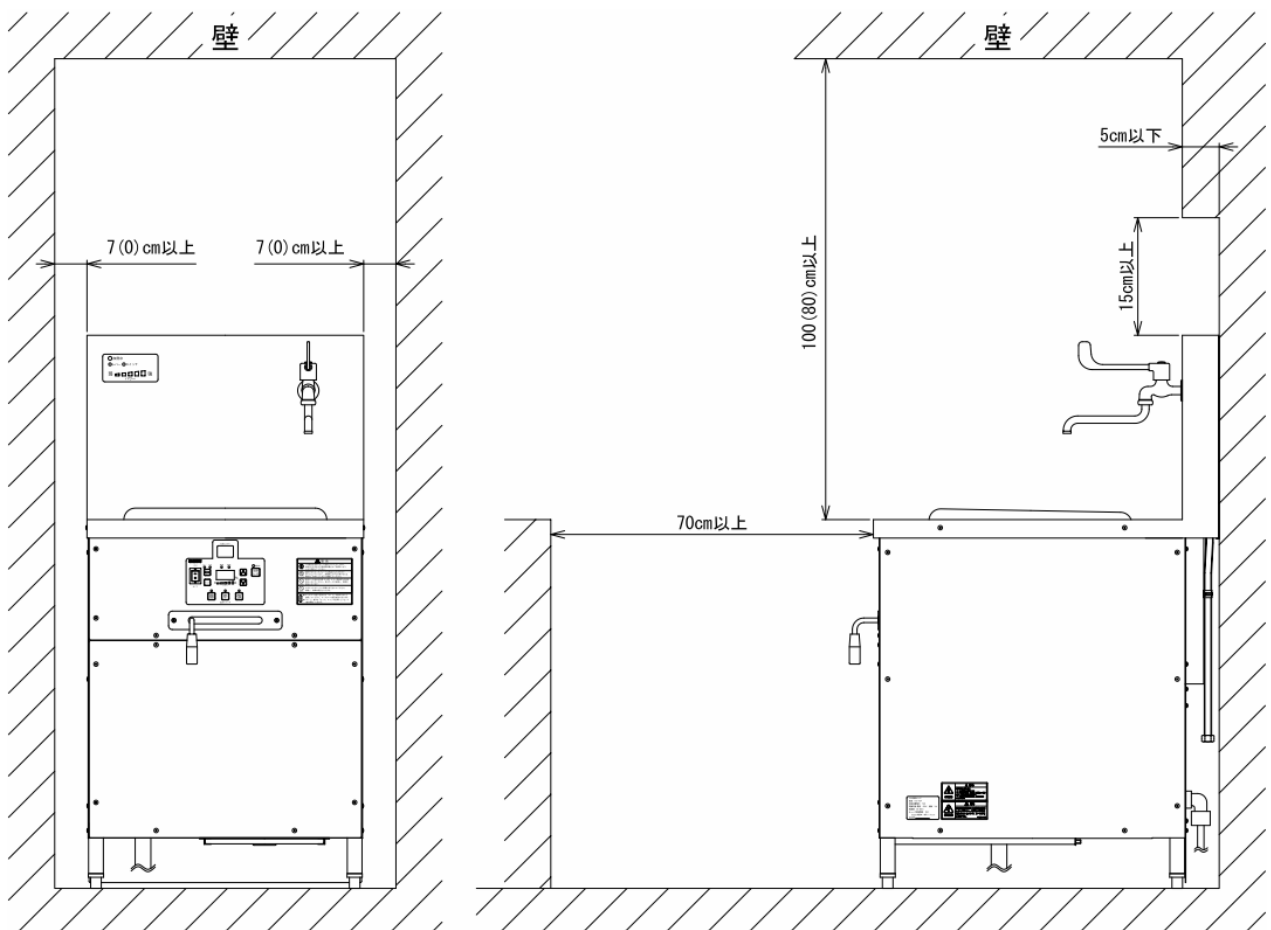
本製品は、中華鍋専用です。下記鍋を使用してください。

使用できる鍋

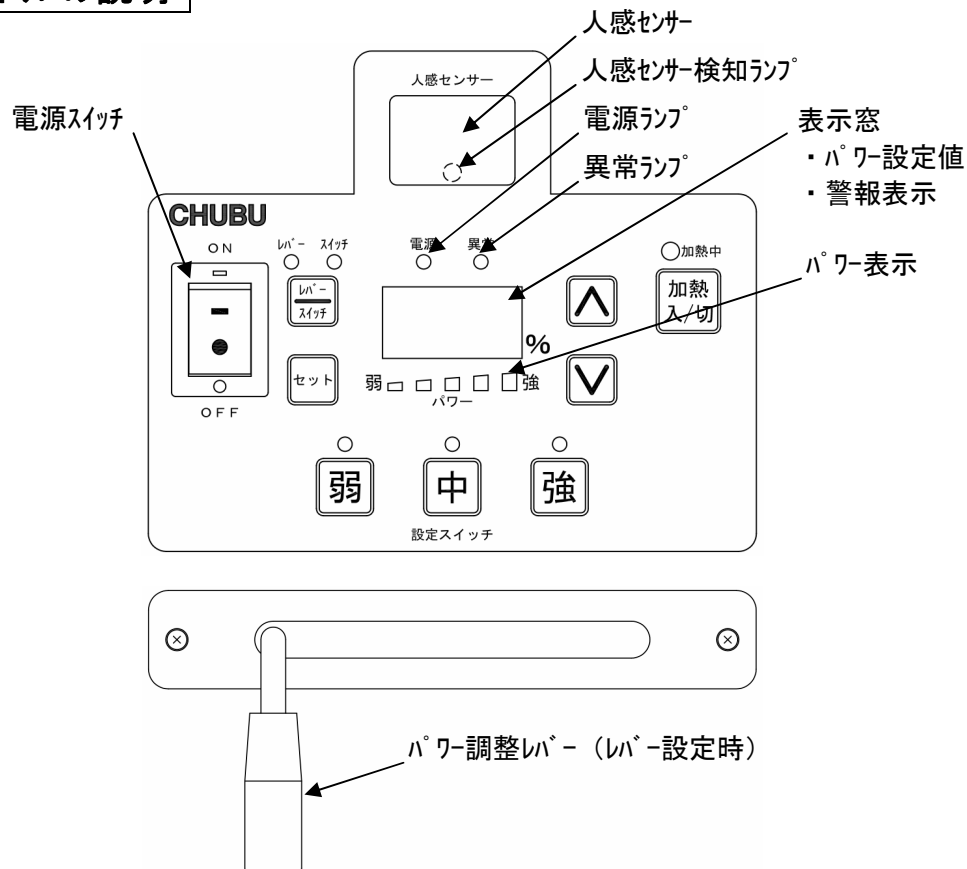
鉄製で、鍋の直径が３６㎝の中華鍋

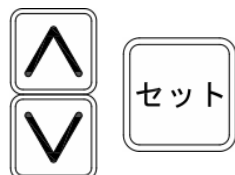
注　意

上記以外の鍋は、出力が下がったり、保護装置が作動し（nP 表示）運転が停止する場合がありますので使用しないでください。

●設置要領図

※（）カッコ内の寸法は、不燃性の壁または防熱板を取り付けた場合です。
ただし、加熱機器と隣り合わせ（左右前後）で設置する場合は、
５ｃｍ以上のスペースをあけてください。

4　使用方法

操作パネルの説明

加熱　入/切スイッチ
※運転時、加熱中ランプが点灯。
※警報表示を解除する際に使用。

設定スイッチ
※スイッチ設定時、各スイッチのパワー設定値を呼出す際に使用。
※スイッチ選択時、ランプが点灯。

上下スイッチ・セットスイッチ
※スイッチ設定時、パワーの値を変更する際に使用。
※設定スイッチの設定値を変更・決定する際に使用。
※フィルター清掃警報（FIL 表示）を解除（リセット）する際に使用。

レバー/スイッチ切替スイッチ
※パワーの値を変更するためのモードを切り替える際に使用。
※選択中モードのランプが点灯。

1. 運転方法

(1)電源スイッチをＯＮにする。
　電源ランプが点灯しているのを確認する。
(2)釜枠の中央に鍋（Ｐ７に示す使用できる鍋に該当すること）を置きます。

注　意

・鍋は釜枠の中央に置くこと。
　釜枠の中央からずらしたり、鍋を置かずに運転しますと、出力が下がったり、
　保護装置が作動（nP 表示）して運転が停止します。
　ただし、20 秒以内に鍋を置くと保護装置は作動しません。
・警報表示（nP）を解除するには、加熱 入/切スイッチを押してください。

(3)加熱 入/切スイッチを押すと運転が開始されます（加熱中ランプが点灯します）。
(4)パワー調整レバー（レバー設定時）または∧,∨及び弱,中,強スイッチ（スイッチ
　設定時）にて好みのパワーに設定してください。
(5)加熱 入/切スイッチを押すと運転が停止されます（加熱中ランプは消灯します）。

注　意

運転を停止しても冷却ファンは一定時間動作しています。
冷却ファンの動作が停止するまで電源スイッチをＯＦＦにしないでください。

2. 設定スイッチのパワー設定記憶手順

(1)レバー/スイッチ切替スイッチにてスイッチモードに切り替えます。
(2)記憶させたいスイッチを選択します。
　表示窓の表示が点滅するまでセットスイッチを押したまま、記憶させたいスイッチ
　（弱,中,強いずれかのスイッチ）を長押しします。
(3)記憶させたいパワーに変更します。
　∧または∨スイッチを押すと、1%単位でパワーを変更できます。
　パワー設定可能範囲：0～100%
(4)変更したパワーを記憶させます。
　セットスイッチを押すと、記憶します。
　表示窓は記憶したパワーを表示します。

3. 人感センサー

製品の対面 70cm 以内に人が立っている間は、人感センサー検知ランプが点灯します。
人が離れると人感センサー検知ランプは消灯し、運転中に消灯状態が 20 秒間継続
すると安全装置が作動（CF 表示）して運転が停止します。
また、運転中に人が離れた状態で、鍋が異常加熱した場合も安全装置が作動
（PH 表示）して運転が停止します。

5　日常のお手入れと点検の方法

お願い

作業は、必ず元電源（漏電遮断器）を切り、各部が冷えているのを確認してから
行ってください。

■毎日のお手入れ

●排水口

排水口がつまらないよう、排水口に汚れなどが付着した場合は取り除いてください。

注　意
排水口がつまった状態で使用を続けると、水漏れ、感電の原因となります。

●セラミックプレート

セラミックプレートが汚れた場合は、かたくしぼった濡れふきんで拭き取って
ください。

注　意
セラミックプレートは常に汚れの無い状態で使用してください。 セラミックプレートに付着物が付いた状態で使用を続けると、焦げ付きの原因となります。

●外装

外装が汚れた場合は、かたくしぼった濡れふきんで拭き取ってください。

注　意
外装はステンレス製ですが、汚れを放置しますとさびる場合があります。

●人感センサー

人感センサーに水, 油, ごみなど汚れが付着した場合は、かたくしぼった濡れ
ふきんで拭き取ってください。

注　意
人感センサーは常に汚れの無い状態で使用してください。 人感センサーに付着物が付いた状態で使用すると、誤作動の原因となります。

■１週間に１回のお手入れ

●フィルター

⑴製品底面にあるフィルターケースを手前前方に引き抜いて、フィルターケースからフィルターを取り出してください。

⑵水またはぬるま湯に中性洗剤を入れて、破らないよう注意して洗ってください。

⑶十分乾かした後、組み付けてください。

注　意

・フィルターの手入れは１週間に１回、またはフィルター清掃警報（FIL 表示）が表示されたら行ってください。フィルター清掃警報は、フィルター清掃後、**セット**スイッチにて解除（リセット）してください。

・使用環境が悪い場合や使用頻度が多い場合は、手入れの回数を増やしてください。

・フィルターの無い状態や、目詰まりした状態、濡れたままの状態で運転をしないでください。故障の原因となります。

■１ヶ月に１回の点検

●セラミックプレート

セラミックプレートにひび割れや破損がないこと、また、コーキングがはがれていないことを確認してください。

注　意

異常の場合は、直ちに使用を中止し、交換してください。

交換は作業専門者が行う必要がありますので、販売店に連絡してください。

●漏電遮断器

元電源（漏電遮断器）のテストボタンを押してください。

レバーが「ＯＦＦ（切)」に切り替われば正常です。

注　意

レバーが「ＯＦＦ（切)」に切り替わらない場合は、直ちに使用を中止し、交換してください。

交換作業は専門業者が行う必要がありますので、販売店に連絡してください。

■１年に１～２回の点検

●アース線

アース線が切れたり、接続部がゆるんだりしていないことを確認してください。

注　意

異常の場合は、直ちに使用を中止し、修理してください。
修理は作業専門者が行う必要がありますので、販売店に連絡してください。

●電源コード

・電源コードが異常な発熱や破損、重いものが載ったり、はさみ込まれたり、
たばねたりしていないことを確認してください。

注　意

異常の場合は、直ちに使用を中止し、修理してください。
修理は作業専門者が行う必要がありますので、販売店に連絡してください。

・接続部にほこりなど汚れが付着していないか確認してください。
汚れが付着している場合は、取り除いてください。
・接続部がゆるんでいないか確認してください。
ゆるんでいる場合は、接続しなおしてください。
・電源は専用電源を使用していることを確認してください。
他の機器と共用している場合は、専用電源にしてください。

６　消耗品の紹介

●フィルター

通常は６ヶ月（使用状況により異なります）、またはフィルターの目詰まりが
取れなくなったら、販売店より新品を購入し、交換してください。

●冷却用ファンモーター

通常は３年を目安として交換してください。
交換作業は作業専門者が行う必要がありますので販売店に連絡してください。

7　故障の見分け方と処置方法

以下の処置方法を行っても直らない場合や、以下以外の症状が発生した場合は、元電源を切り、販売店に連絡をしてください。１年以内であれば無償、それ以降は有償にて修理いたします。

症状	原因	処置方法
表示窓に何も表示されない	電源コードが外れています。	電源コードを正しく接続してください。
	電源スイッチがＯＦＦになっています。	電源スイッチをＯＮにしてください。
	元電源がＯＦＦになっています。	元電源をＯＮにしてください。
表示窓に、ＯＨと表示され運転が停止した	製品内部のインバータユニットが異常に温度上昇しました。	通常の温度に下がるまで（加熱 入/切スイッチを押して解除されるまで）運転をしないでください。また、フィルターが目詰まりしている可能性がありますのでフィルターを清掃してください。
表示窓に、ＣＨと表示され運転が停止した	製品内部の加熱用コイルが異常に温度上昇しました。	通常の温度に下がるまで（加熱 入/切スイッチを押して解除されるまで）運転をしないでください。また、フィルターが目詰まりしている可能性がありますのでフィルターを清掃してください。
表示窓に、ＬＵと表示され運転が停止した	機器に必要な電圧が低い。	正しい電源を使用してください。
	瞬時停電が発生しました。	加熱 入/切スイッチを押すと解除されます。
表示窓に、ｎＰと表示され運転が停止した	正しい鍋の使い方をしていない。	加熱 入/切スイッチを押すと解除されます。釜枠の中央に使用できる鍋を置き、運転を開始してください。
表示窓に、ＣＦと表示され運転が停止した	人感センサーが人無しを検知しました。	加熱 入/切スイッチを押すと解除されます。製品正面に立ち、人感ｾﾝｻｰ検知ﾗﾝﾌﾟが点灯していることを確認してから運転を開始してください。
表示窓に、ＰＨと表示され運転が停止した	人感センサーが人無し及び鍋の異常加熱を検知しました。	加熱 入/切スイッチを押すと解除されます。製品正面に立ち、人感ｾﾝｻｰ検知ﾗﾝﾌﾟが点灯していることを確認してから運転を開始してください。
表示窓に、ＦＩＬと表示された	フィルター清掃警報が出ました。（１００時間毎に表示）	フィルターを清掃してください。 ・ｾｯﾄ以外のスイッチを押すと通常表示となり、１分後に再びＦＩＬ点滅（警報一時解除） ・ＦＩＬ点滅中にｾｯﾄスイッチを押すとブザー音が鳴り、解除（リセット）されます。
本体のケースに触るとピリピリと不快な感触がある	本体にアース線が接続されていない。	本体にアース線を接続してください。
	本体に接続されているアース線が接続不良または断線している。	本体に接続されているアース線の点検を専門業者に依頼してください。
運転中に突然停止し再運転できない	本体の故障	販売店へ連絡してください。１年以内であれば無償、それ以降は有償にて修理いたします。
	タッチパネルの故障	

８　仕様

<table>
<tr><td rowspan="2">型式</td><td>外形寸法</td><td rowspan="2">電源</td><td rowspan="2">定格消費
電力</td><td rowspan="2">給水</td><td rowspan="2">排水</td><td rowspan="2">質量</td></tr>
<tr><td>(幅×奥行×
高さ)</td></tr>
<tr><td>DC17HA</td><td>600×750×
800+400㎜</td><td>三相,AC200V,
50/60Hz
容量最大値：
8.2kVA(26A)</td><td>7kW±10%</td><td>・外径:16㎜
(呼13)
・取付ﾈｼﾞ:G1/2</td><td>ｶｸﾀﾞｲ製 4550
・内径:30㎜
外径:34㎜
・材質:PVC</td><td>100kg</td></tr>
</table>

９　保証とｱﾌﾀｰｻｰﾋﾞｽについて

保証期間は本体お買い上げ日から１年間

保証期間中は、保証書の規定に従って、無償修理させていただきます。
保証期間後は、診断して修理できる場合、ご要望により、有料で修理させていただきます。
有料修理につきましては、修理費用は、事前に見積金額として提示させていただきます。
修理費用は、技術料＋部品代＋出張料（運送費）で構成されております。
保証期間１年を経過した商品の修理後の保証につきましては、修理箇所についての保証のみで、修理品お届け後６ヶ月です。修理箇所以外で発生した故障につきましては、有料の修理となります。
保証期間後、予防保全の観点から、当社にオーバーホール定期点検の依頼がある場合、当社は、有料でオーバーホール定期点検を実施いたします。オーバーホールの依頼を受け、当社で定期点検修理を実施した商品につきましては、定期点検実施後、６ヶ月の保証をいたします。

保証期間中においても、有料修理となる例

① 外力による破損（セラミックプレートの破損、等）。
② 製品の設置環境が使用条件を逸脱して使用されている。
③ 電源系統に落雷、電気工事などで、異常電圧が発生し故障した痕跡のある場合。
④ フィルターの目詰まりによる異常の履歴がある場合（異常履歴が記録されます）。
⑤ 高温（２００℃以上）の油などの飛散によるセラミックプレート接着材の損傷による故障。
⑥ 製品の内部に水などの浸入が認められる場合。

交換部品

部品名	**標準交換時期**	**交換方法**
フィルター	６ヶ月又は目詰まり発生時	新品と交換
セラミックプレート	劣化発生時	新品と交換
冷却用ファンモーター	３年	調査の上交換
加熱コイル	５年	調査の上交換
ヒューズ	１０年	新品と交換